

<p>療育について</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭でも実施できる思考やコミュニケーションの課題を出していただけるとありがたい ・集団療育の際、一人ひとりの個別支援計画に沿って療育できているのか疑問に思っています ・学習に対して個別に対応していただきありがとうございます ・指導が厳しいと感じることがある。子どもの自己肯定感が育まれるような関わりを望む(先生の指示が多く自由度が少ない。指示通りできないと次回はなしなど) ・幼稚園の頃から同じ担当なのでこれからも同じ先生に指導してもらいたい 	<ul style="list-style-type: none"> ・SST課題やからだを使った課題など、お子さまの状況に合わせた課題のご用意はありますので、検討します ・集団のプログラムでもお子さまの支援については個別支援計画に沿って、お声掛けや設定を行っています ・学習はお子さまの状況に合わせた課題を用意していますので、学校の進捗とは異なりますが「やったらできた」の体験につなげていきます ・ご指摘ありがとうございます。お子さまの課題に合わせた療育、指導を行っています。保護者様への説明が不足していました。今後より丁寧なフィードバックを行っていきます ・なるべくいろいろな先生に対応できるように、先生の変更を行っています。場合によっては継続することもあります。保護者様のご希望は今後もお聞きしていきます
<p>設備・運営について</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・送迎車があったら良いかなと思います ・先生一人ひとりが子どもの特性を理解して、ちょっとした心配ごとと一緒に考えてくれるので相談しやすいです ・家ではみられないことに取り組んでいて、さらにアドバイスがもらえるのが良かった ・記録で様子を教えてもらえるところ ・先生たちが話を聞いてくれるところ ・フィードバックがあるのが良い ・専門的な見解をもらえること ・担任の先生に学校の様子を聞いてくれたり、学習面のサポートを考えてくれるので助かっています ・他の方のフィードバックも聞けるので参考になる ・中学でも通えるようにしてほしいです ・ニーズ、疑問、ヘルプにすぐ対応してもらえるところが良い ・駐車場がないのと、近隣の駐車場が狭いので停められるかが心配です。またたききに自転車が停まっていて、駐停車ができないことが困ります 	<ul style="list-style-type: none"> ・現在車での送迎の予定はありません ・個別でも集団でもお子さまそれぞれの特性を把握して療育プログラムを作成しています ・お子さまと一緒に通所していただいている保護者様には対面で、お子さまの様子や困りごと、これからのことなど、一緒に考えて子育てに役にたてることを嬉しく思います ・活動は定期的に変えて、お子さまが飽きないようにしています ・お子さまと同伴が難しい保護者様や、中高学年の保護者様には記録で毎週の様子をお伝えしています ・半年に一度程度、お子さまの所属の学校と連携してお子さまの学校の様子を伺い、保護者様にご報告しています ・中学生の放課後等デイサービスについては検討中です ・駐車場のご用意が出来ず申し訳ございません。近隣に複数の駐車場がございますので、使いやすい駐車場をご利用いただくと助かります。また自転車でご来室の利用者様が事業所前のたききに駐輪していますので、ご了承ください。
<p>通所して良かったこと</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの癩癩を自分自身でとめられるようになった ・お話が上手になり会話が続いたり考えていることがわかるようになった ・他児の姿が刺激になり、自らハサミやひらがなの練習をするようになった ・失敗したり、負けてもすぐに怒らなくなった ・環境が変わっても困り感がなく通えるようになったこと ・ダンスをすることが楽しいとおもえるようになったこと ・たっちに通うようになってことばが増えた ・少しずつできることが増えて嬉しいです ・自分の意見を言えるようになったこと ・本人が通所を楽しみにしていること ・お友達がいることで安心感があります ・SSTでいろいろなことを学ばせてもらっている ・ひとりでバスを使って通所できるようになったこと ・苦手だったことを克服できるようになったこと ・たっちから帰って、習ったことや出来事を嬉しそうに話してくれるところ ・たっちに通っていたお陰で、他の習い事をスムーズに通えるようになったこと ・幼稚園の行事で補助がなくなったこと ・たくさん褒めてくれるので、こどもに自信が持てるようになったこと ・子どもにとって好きな居場所が増えたこと ・一緒に子育てするパートナーができたこと ・子どもがイライラすることが減ったこと ・自分の興味の有無で参加するかしないかを決めていたが、見通しが持てれば取り組めるようになったこと ・自分中心だったのが、他人本位になったこと ・周りをみて年下へお手伝いや助けたいと言う気持ちが育っていること ・仲の良いお友達と楽しそうに過ごしているのを見て嬉しく思う ・座ってまつ、お話を聞く姿勢を繰り返し伝えてくれたことで、座っていられるようになった 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童発達支援では保護者様に療育を観察していただき、お子さまの特性を共有しています。また日常場面での困りごとや対応の仕方を一緒に考え、お子さまに適した環境づくりのお手伝いをしていきます。言葉がでなかったお子さまも、気持ちを表出することができ、またお友達と一緒に活動を共有する喜びを感じることができます。さらに就学前に身に付けておきたい、お話の仕方、聞き方などの日常生活のルールやマナーも活動を通して体験していきます ・低学年の放課後等デイサービスでは、学習課題を通してお子さまの習得状況や躰きの様子を学校とも共有して、必要なサポートを提供しています。そして出来ることを重ねることで、お子さま自身が意欲的に取り組み自信が持てるようになることを目指しています。さらに小集団での活動を繰り返すことで、社会適応の仕方やコミュニケーション方法を身に付けられるようにすすめています。 ・中高学年の放課後等デイサービスでは体幹を意識したトレーニングにより、自身のからだの使い方を体験していきます。活動では小集団の中で必要なSSTを経験して、コミュニケーション力を高め、生活体験が豊かになるような取り組みをしています。また一人で公共機関が使えるように、バス停までの送迎も行っています。